

英文法 用法

ネイティブもはまる

落とし穴



英語学習者の皆さんが「あれ?」とつまづきがちな英文法は、ネイティブスピーカーにとっても曖昧だったり、自信がなかったり、あるいは間違えてしまうことさえあります。文法には一定のルールがあるものの、特に現代の英語では、状況や場面によって「より適切な」使い方があったり「どちらもOK」となったり、はっきりしないものも実は存在するのです。

本特集では、ネイティブもはまりやすい「落とし穴」をクイズ形式で出題し、文法的に正しい、会話では適切、といったニュアンスがつかめる解説とともにご紹介します。

編集: EE編集部

1. 名詞・代名詞 編

名詞・代名詞の単数形、複数形の使い分けや、主語が一致しない文に関する正しい知識を身に付けましょう。



「どちらも」は単数か複数か

I didn't think either of those movies [was / were] any good.

私はそれらの映画はどちらも全然良くないと思った。

解説 代名詞 either/neither は単数扱いが原則なので、was の方がふさわしい。ただし、くだけた言い方や〈either/neither of + 複数形の名詞〉の形では、しばしば複数扱いとされることがある。いずれも、単数扱いの方がより適切。

△ Neither of those cakes are gluten-free.

○ Neither of those cakes is gluten-free.

それらのケーキはいずれもグルテンフリーではない。

正解 was

5人の子どもたちが博士号を持っている

They have five children, each of whom [have PhDs / has a PhD].

彼らには5人の子どもがいて、それぞれが博士号を取得している。

解説 「それぞれ、おのおの」を意味する each は、代名詞用法、形容詞用法、副詞用法があるが、2つ(2人)以上のもの・人の1つ1つ(1人1人)を表すので、原則は単数扱い。

代名詞: Each of the brothers was married by the age of 20.

その兄弟たちはそれぞれ20歳までに結婚した。

形容詞: Each candidate in this election has military experience.

この選挙の各候補者は軍隊経験をもつ。

正解 has a PhD

every one

Every one of the customers [were given free samples / was given a free sample].

客の一人一人に無料サンプルが提供された。

解説 「どの～も、あらゆる～」を意味する every は、3つ(3人)以上の人やものについて全体のうちの1つ1つ(1人1人)を表す。every one は原則単数扱い。ちなみに、everyone と1語で言うときは「人」を指す場合にのみ使われ、その場合もやはり単数扱い。

正解 was given a free sample